

電気泳動装置の使い方 (2016年本選 筑波大会の予備体験資料より抜粋)

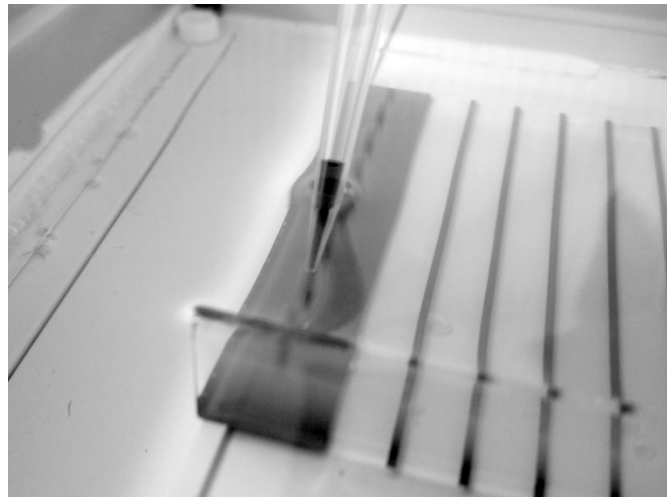
1) 泳動槽の中央にプラスチックトレイ付のゲルがあり、浮き上がっていないことを確認する。



DNAは泳動槽に通電すると陽極側に移動するため、ゲルのウェル(穴)が陰極側になる方向で使用する(プラスチック製のカバーにプラスとマイナスで表記されている)。

2) ピペットチップを装着したマイクロピペット P-20 でマイクロチューブ②の色素液を 5 μL をとり、マイクロチューブ①の滅菌蒸留水(20 μL)に加える。ピペットチップの先でよく混ぜる。

- 3) 青い色素を混ぜた滅菌蒸留水 20 μL をピペットチップ P-20 で分取し、そのままアガロースゲルのウェルに静かに入れる。比重が重いので、サンプル溶液はウェルの底に沈む。



- 4) プラスチック製のカバーをして、100V の電圧設定であることを確認したらスイッチを入れ泳動を開始する。

注意点)

- ・ 通電中は泳動槽に指などを入れないこと(感電注意)。
- ・ 泳動しようとするサンプル溶液をウェルに入れる際、ウェルの底をピペットチップの先端で破らないように注意すること。
- ・ プラスチックトレイからゲルが外れても泳動槽の中央にゲルがあれば泳動可能であるため、注意深く位置を戻すこと。
- ・ ゲルが動かないように泳動中は泳動槽を動かさないこと。
- ・ 泳動時の電圧設定に注意すること(今回は 100V 設定)。